

高齢者福祉学特論

[講義] 1年 前期 選択 30時間 2単位

《担当者名》○巻 康弘 [maki@hoku-iryo-u.ac.jp]
大内高雄 (非) [takao.o@view.ocn.ne.jp]

【概要】

老いや病と共に生きる高齢者を取り巻く福祉政策と実践の動向を多面的に検討し、高齢期を生きる高齢者の生活支援の今後のあり方について検討する。

【学修目標】

人生100年時代の現状の制度・システムの課題を理解し、高齢者の生活を支援するためのシステムのありようについて、考察することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	本特論のオリエンテーション、研究テーマの概要	・本科目のねらいと授業の進め方 ・当事者・専門職・組織・地域・社会の価値システム	巻
2	高齢者の生活ニーズ	・バイオサイコソーシャルモデル ・老年期における入退院経験と生活ニーズ	巻
3	高齢者支援とケアマネジメント(1)	・高齢者支援の理念と技法 - 福祉政策・実践の動向を踏まえつつ ・コミュニティソーシャルワークとケアマネジメント等	大内
4	高齢者支援とケアマネジメント(2)	・従来の高齢者支援の批判的検討等	大内
5	ケアマネジメントの基本理解(1)	・ケアマネジメントの概念(理念と特徴)など	大内
6	ケアマネジメントの基本理解(2)	・ケアマネジメントの展開(アメリカと日本を中心に)	大内
7	ケアマネジメントの実際	・事例 ニーズ優先アプローチの視点から	大内
8) 9	意思決定の構造(自己と他者)	・自己と他者 ・自己のパラドックス ・老い・病とアイデンティ管理	巻
10) 11	老い衰えゆく身体を生きる家族を介護するという事	・家族による介護の困難性 ・家族介護における相互作用ダイナミズム	巻
12) 13	地域全体のケアの質向上に向けたソーシャルワークの展開	・地域全体のケアの質向上に向けたソーシャルワークの展開(ケアマネジメント・ネットワーク、AI活用など)	関建久(特別講師) 巻
14) 15	医療提供体制と地域包括ケア総括	・病院の世紀から地域包括ケアへ ・地域包括ケアにおける課題 ・その人らしく生活ができるための地域の課題 ・本授業のまとめ	巻

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

授業への準備状況30%、課題への取り組み40%、討論での参加態度・意欲30%

【教科書】

白澤政和 蛭江紀雄編(2013)『改訂ケアマネジメント』全国社会福祉協議会

その他、講師からレジュメを配布する。

【参考書】

白澤政和 (2018) 『ケアマネジメントの本質 生活支援の在り方と実践方法』中央法規

猪飼周平 (2010) 『病院の世紀の理論』 有斐閣

天田城介 (2007) 『老い衰えゆくことの社会学』多賀出版

【学修の準備】

各回の授業テーマに沿った文献、資料等についてよく読んで、理解した上で臨むこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、臨床福祉学における高度な専門性と研究能力を修得するという臨床福祉学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。